

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	期限付き建築物設計法小委員会	主 査 名：辻 聖晃 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：佐藤 秀人
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>期限付き建築物の具現化に向けて、前身の小委員会での検討重点テーマ（適用設計ルートを分ける建物規模・設計荷重再現期間の決定係数・相応しい仕様規定）を踏まえ、設計法をより充実させ、既刊の「期限付き建築物設計指針（2013）」の改定版を作成することを目的とする。</p> <p>初年度：2016 年度大会大会で実施した PD を踏まえた検討等を行う。 2 年度：期限付き建築物の具現化に向け検討を深め、改定内容を具体化する。 3 年度：「期限付き建築物設計指針（2013）」の改定を前に、PD を開催する。 4 年度：充実した設計法を示した改定版を脱稿する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：辻聖晃（京都大学） 幹事：木村麗（建材試験センター） 委員：岩崎敏之（静岡文化芸術大学）、軽部正彦（森林総合研究所）、萱嶋誠（大成建設）、木村衛（エイ構造研）、近藤吉治（構造計画研究所）、坂井正美（アップコン）、佐々木健友（太陽工業）、新藤健太（森林総合研究所）、永野康行（兵庫県立大学）、林篤（東日本旅客鉄道）、森保宏（名古屋大学）、柳澤孝次（やなぎさわ伝統建築研究室）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	500,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 期限付き建築物について、PD等による情報提供活動や、2020東京オリンピックを控えた時期であること等により、会員外からの問合せや行政庁等の図書に引用されるなど、普及を感じられた。こうした状況を踏まえて検討を進めた。 2. 前身の小委員会から取り組んできた「期限付き建築物設計指針」英語版の作成について、完了した。
委員会活動の問題点・課題	1. 交通費等支給対象者について不明瞭と感じられる時があった。